

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	23	事業名	文化・文化財事業			担当部課	くらし文化部生涯学習課					
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでもどこでも誰とでも広がる交流の輪			決算書ページ	一						
	行政改革指針・重点課題	一			会計区分	一般会計						
	法定受託事務の有無	無				予算区分(款-項-目)						
	その他(関係計画、要綱等)	有	古戦場公園再整備基本計画			9-4-6 文化財費						
	事業開始の背景、経緯等	平成28年度に策定した古戦場公園再整備基本計画にしたがって、この地域のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承するために、古戦場公園に古民家を含む歴史民俗体験施設を整備する。										
事業フロー	市民・民間事業者との連携協働の可能性	市民とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)									
	(①事業内容 (どんな活動を行うのか))	(②アウトプット【活動指標】 (活動の結果、どうなるのか))	(③中間アウトカム【成果指標】 (対象はどうなるのか))	(④最終アウトカム (市としてどうなるのか))								
	【誰を対象に】 市民	古戦場公園に、市民と協働して古民家を移築整備する。	移築後の古民家で、長久手のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承するため、歴史民俗資料館の附帯施設として、古戦場公園に移築する。	長久手のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承する古民家や歴史民俗資料館を活用して、体験活動や継承活動で市民が主体的に行うようになる。								
	【目的】											
	江戸時代後期の建築とされ、市内に現存する最古級の古民家を活用し、この地域のくらしぶりや歴史民俗文化を後世に継承するため、歴史民俗資料館の附帯施設として、古戦場公園に移築する。											
コスト推移	項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)				
	事業費(A)	千円	予算	35,982	33,637	22,771	28,141	53,927				
			決算	25,792	21,373	19,427	37,292	-				
	人件費(B)	千円	決算	6,326	5,472	5,541	6,428	-				
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	32,118	26,845	24,968	43,720	-				
	事業対象の数(D) (R5年度は想定数) 対象あたりコスト(C/D)の過去3年平均値	人		59,500	60,000	60,300	60,500	60,800				
進捗状況	中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】 R4年度(2022)年実績		【目標①】 R8年度(2026)年実績	【目標②】 R13年度(2031)年実績						
	移築後の古民家で、主体的に活動する市民の延べ人数 (指標の設定根拠)	人	106		500	1,000						
	移築後の古民家の活用にあたっては、主体的に考え、行動することができる市民が必要であるため	(数値目標の根拠:調査名、調査年など出典) 現状の市民ワークショップの参加者数を参考に、令和7年度末の古民家の供用開始に向けて、事業に関心を持つ市民が増加することを想定し、目標数値を設定した。										
振り返り	事業開始からの経緯など	平成28年度の古戦場公園再整備基本計画策定以来、古民家の移築に向けて、市民ワークショップでの事業趣旨説明や古民家の補修を行ってきた。令和4年度に解体・移築設計業務を行い、令和5年度に古民家の解体を予定し、令和7年度末の供用開始を目指している。施設の運営を担うことができる市民を今後もワークショップ等を通じて増やしていく必要がある。										
	令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 古民家移築に関する市民ワークショップを4回開催し、大学生、外国人の方を含む延べ106人が参加した。また、長久手中央土地区画整理組合から本事業への御理解を得て288,717,043円の寄附金を受納し、本事業を進めるにあたり、市の財政的負担を大幅に軽減することができた。										
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 市民の中からファシリテーターを育成し、市民主体で意見交換・活動ができるようにしていくことやサインレント・マジョリティの声をいかに集約・反映させるかが重要であると考える。										
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 古民家移築をはじめとする歴史民俗体験施設整備事業を進めるにあたり、寄附をいただいた長久手中央土地区画整理組合をはじめとする多くの市民から魅力的で素晴らしい施設を整備して欲しいとの意見に応えるため、工事を確実に進捗させる。また、供用開始に向けて、主体的に活動してくれる市民を増やすため、引き続き市民ワークショップを開催して、市の取組の情報発信に努める。										